



The Land of Dragon, Onomichi

-The Symbol and Forms

上(部分)ノ「大龍神國」出口 王仁三郎 大正10(1921)年 個人蔵  
下(部分)ノ重要文化財「雲龍図」海北 友松 桃山時代 建仁寺蔵  
背景(部分)ノ「DRAGON」Organix 平成12(2000)年 個人蔵

開館20周年記念展

# 龍の國・尾道～その象徴と造形

2000年3月18日土→5月7日日 休館日は月曜日  
[ただし、3月20日(月)、4月10日(月)は開館し、3月21日(火)は休館]

開館時間 — 9:00～17:00 (ただし、入館は16:30まで) 3月18日(土)のみ午前10時開館

入館料 — 一般 800【700】円、大学・高校生 500【400】円、中・小学生 300【200】円

※【 】内は20名以上の団体料金、かおり橋駐車場(有料)利用者は200円の割引有

主催 — 尾道市立美術館

後援 — NHK福山支局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、尾道ケーブルテレビ

併設 — 小林和作記念室



尾道市立美術館

〒722-0032 広島県尾道市西土堂町17-19  
TEL&FAX (0848) 23-2281

龍が現れている山が、尾道に伝わる龍の物語の舞台となりました。また、自然と共生する風水の空間構成からも、東方は青龍にあたり、この山並が大きな龍脈と考えられています。

画面右上の鏡は、日本神話『古事記』のなかの「潮満の玉」を意味し、画面左下の耀盤(ようわん)は、「潮干の玉」にあたります。潮の干満という大自然までも操ることができる架空の動物こそが、龍なのです。背景の絵図は、当館がある千光寺公園からの俯瞰図です。今春、龍(山)の尾である尾道から新たな物語がはじまります。どうぞ本展とともに尾道の景観もお楽しみください。



## 開館20周年記念展 龍の國・尾道 —その象徴と造形—

一九八〇(昭和五五)年に開館した尾道市立美術館は、二〇〇〇(平成十二)年に開館二十周年という記念すべき年を迎えます。折しも西暦二〇〇〇年は、東洋の十二支の辰年にあたります。中国の故事の中に、龍(辰)は、蛇として生まれ、最初の千年をかけて若い龍である蛟龍(みずち)となり、もう千年を経て、本物の龍になり、金色に輝きながら天へ昇って行くという伝説があります。今年は、西洋の太陽暦(二〇〇〇年)と金龍への道程(二千年)が奇跡的に結ばれる年でもあります。

龍は中国において古くから吉兆の文様として、歴代の皇帝があらゆる品に用いました。日本においても、龍は全国各地の昔話に登場し、主に雨乞いの際の水を司る祭神として多く描かれています。尾道に伝わる「蛇ヶ池伝説」も龍の物語として、古くから人々に伝承され、尾道を代表する昔話として今に語り継がれています。本展は、文化財、平面作品、立体作品、コンピュータグラフィック等の各ジャンルにわたり、幅広く東洋美術のなかの龍および龍的概念で制作された作品を展示いたします。また、なぜ尾道が「龍の國」なのかを本展の構成でひもとこうとする試みでもあります。本展を通じて、日本人の多くが未だ見たことのない「日本の龍」の本当の容姿を紹介すると共に、「生命」の象徴としての「龍」を過去(死者)から教わり、現在(私たち)において考え、二十一世紀の未来(子どもたち)へ託すウイジョンとして提示したいと考えます。



- 上/意津鏡「内行花文長宜子孫八葉鏡(レプリカ)」後漢時代(50年頃) 元伊勢 龍神社 蔵
- 下/耀盤「潮干の玉(銘 球の玉)」出口 王仁三郎 昭和20(1945)年頃 個人蔵
- 背景(部分)「尾道浦絵図」林 黄山 江戸時代 尾道市立美術館 蔵
- 背景(部分)「雲龍図」狩野 探幽 江戸時代 個人蔵

### ■関連事業

#### 龍書

3月18日(土)10:15~10:20  
「龍を揮毫するアートパフォーマンス」  
書家/外林 省二

#### 龍囃

3月18日(土)10:20~10:40  
「尾道に伝わる龍の民話を題材とした表現遊び」  
舞囃子/尾道市立久保保育所の園児たち

#### 龍起

3月20日(月)14:00~15:00  
「鈴を用いて参加者の龍を呼び起こすアートパフォーマンス」  
パフォーマー/麻生 倭鶴

#### 龍談

3月26日(日)14:00~15:30  
演題「何かに導かれた龍展」  
講師/能勢 伊勢雄、松本 順正、梅林 信二

#### 龍舞

4月2日(日)(各公演時間20分)  
13:00~「珠取海士」、14:00~「古道成寺」、15:00~「珠取海士」  
神舞/古澤 侑峯(古澤流東家元) 竜笛/宮道 朝子

#### 龍語

4月15日(土)14:00~15:30  
演題「ひょうたんから龍」  
講師/佐藤 公俊[ゲーテ科学]

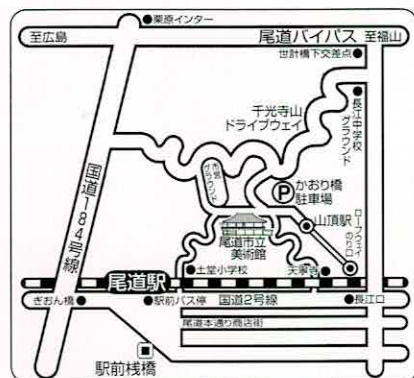
4月16日(日)14:00~15:00  
演題「龍の美学」  
講師/高橋 巖[美学]

5月 7日(日)14:00~15:00  
演題「龍・芸術・予言—出口王仁三郎の世界—」  
講師/出口 京太郎

#### 龍奏

4月21日(金)~23日(日)14:00~15:00&Free Time  
「龍をテーマに演奏されるアンビエントミュージック」  
DJ/Jeff Mylar

- ※ 龍書、龍囃(無料)は、当館受付前にて開催予定、雨天の場合は中止。
- ※ 龍舞(要入館料)は、当館第1展示室にて開催予定(先着順)。
- ※ 龍起、龍談、龍語、龍奏(要入館料)は、当館エントランスホールにて開催予定(先着順)。



#### ■ご利用案内

- 尾道駅から東行きバスで「長江口」下車、ロープウェイで乗り継ぎ千光寺公園へ(直行便は便数が少ない)
- 自家用車の場合、千光寺山ドライブウェイ経由でかおり橋駐車場へ(利用者は200円割引有)
- 尾道駅および新尾道駅からタクシーで1,200円程度

#### 割引券

開館20周年記念展  
龍の國・尾道  
—その象徴と造形—

本券を入館券売場へお出ください。  
1枚につき2名様まで次のとおり割引いたします。

|     |       |           |
|-----|-------|-----------|
| 一   | 一般    | 800円→700円 |
| 大   | 学・高校生 | 500円→400円 |
| 中・小 | 学     | 300円→200円 |

#### 割引券

開館20周年記念展  
龍の國・尾道  
—その象徴と造形—

本券を入館券売場へお出ください。  
1枚につき2名様まで次のとおり割引いたします。

|     |       |           |
|-----|-------|-----------|
| 一   | 一般    | 800円→700円 |
| 大   | 学・高校生 | 500円→400円 |
| 中・小 | 学     | 300円→200円 |